



# 黄金の森

2023年8月25日発行  
南風原町立 南風原中学校  
発行者 校長 比嘉智也  
校長だより第9号

【教育目標】 目標を持ち自ら学ぶ生徒 心豊かで思いやりのある生徒 心身ともに健康で忍耐力のある生徒

## 『自分を成長させる』2学期にしていこう！

今日から2学期が始まります。生徒の皆さん、夏休みはどうでしたか。2学期はどんな学期にしていきたいですか。学校では、皆さんに自分のことは自分で考え正しく判断し、自己決定し行動する生徒になって欲しいと思っています。一人ひとりが南風原中の生徒として、『自信と誇り』を持った行動をしていきましょう。『自分を成長させる』2学期になるように頑張っていきましょう！

### 『自信と誇り』を持った生活をしよう！



自分に自信を持っている人とは、自分に誇りを持っている人と言えます。

自分に誇りを持つということはとても大事なことです。自分の人生を楽しんでいる人でなければ、誇りを持つことは不可能と言われています。人は自分が本当にやりたいことをやってこそ大きな喜びが得られ、かつ誇りを持つことができます。

それはみなさんが行動するとき、どちらにしようかと、意思決定を迷った時、それをして誇りが持てる方を選択するということです。

ここでいう誇りとは人に自慢することではありません。自分自身に向かって誇れることをするという意味です。人の目をごまかすことは簡単ですが、人は元々、自分自身に嘘をつくことはできません。自分に言い訳という嘘をついていると、決して誇りを持つことは出来ません。

自分の心に素直に、自分らしい生き方をしていると誇りが持てます。

自分に誇りを持てた人は、人に対する思いやりが自然と出てきます。

自分の喜びを大切にする人は、人の喜びも大切にしようとします。

それが気遣いであり、優しさであり、愛情となります。

愛情は喜びの応援団です。喜びの応援をしてもらった人はうれしくなり、同時に応援する側もうれしくなります。誇りとはそうやって手に入れるもののようです。

誇りが持てるようになると人は自然に人の幸せを願うようになります。

人の幸せを応援できる人こそ『誇りと自信』をもったと言える人です。

### 背伸びとジャンプ

高いところにある物をとるために、人は背伸びをすることがあります。手を伸ばしただけでは届かない。でも、あと少しでとれそう。そんな時、人は背伸びをします。普通の状態よりもちょっとだけ頑張る手を伸ばす。人が日々成長していくためには、この背伸びのように、ちょっとだけ頑張ることが大切です。難しいこと、大変なことではなく、簡単なこと、可能なことのでいいので日々の生活に付け加えていく。前向きにチャレンジする。つまり、今持っている力だけでなく、ちょっとだけ背伸びをしてみるのです。



- |     |                       |                    |
|-----|-----------------------|--------------------|
| 例えば | ・毎日、授業や生活の振り返りを書く。    | ・毎日、5分だけ早く起きる。     |
|     | ・毎日、自分から進んで挨拶をする。     | ・毎日、一つだけ手伝いをする。    |
|     | ・毎日、10本だけ多くシュート練習をする。 | ・毎日、5分だけボランティアをする。 |

自分の力を「1」だとし、その力のまま、毎日を過ごすとしたらどうでしょうか。今日も1、明日も1、明後日も1。1×1×1となり、いつまでたっても自分の力は「1」のまま。成長していきません。

自分の目標に向かって、あるいは「なりたい自分」に向かって毎日1%だけ努力する。

大きなジャンプではなく、背伸びを試みるのです。

自分の力を1とした時の1%は0.01、毎日1ではなく1.01の力で生活します。

これを1年間、365日続けたら、 $1.01 \times 1.01 \times 1.01 \dots$ どうなると思いますか。

なんと37.78となり、自分の力が約38倍にもなるのです。今、自分が持っている、手持ちの力だけでなく、目標に向かって、なりたい自分に向かって、毎日ちょっとだけ背伸びをする。それを継続していく。それが大きなジャンプにつながります。

## 『心のスイッチ』を入れよう！

心のスイッチ [東井義雄]

人間の目はふしぎな目、見ようという心がなかったら、見ているも見えない。

人間の耳はふしぎな耳、聞こうという心がなかったら、聞いていても聞こえない。

頭もそうだ

はじめから、よい頭わるい頭の区別があるのではないようだ。

「よしやるぞ！」と心のスイッチが入ると、

頭も素晴らしいはたらきを始める。

心のスイッチが、人間をつまらなくもし、すばらしくもしていく。

電灯のスイッチが家の中を明るくもし、暗くもするように。

生徒の皆さん、2学期では、新たな「めあて」を持ち、実りの多い学期にするためにも、今一度『心のスイッチ』を入れて頑張っていきましょう。



### 校長クイズ

- 1 さいたま市に住むサトル・タケシ・マサルの職業は？
- 2 移動するのに240時間かかる新幹線は何新幹線？

### 前号クイズの解答

- 1 いわし、たい
- 2 クレヨン

